

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 25-3】 2025年8月28日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

介護署名を大きく広げよう!!

この秋から、下記の項目による介護保険制度の抜本改善を求める請願署名に取り組みます。政府は「介護三大改悪（①利用料2割負担の対象拡大、②ケアプランの有料化、③要介護1・2の生活援助の保険給付はずし）」など、さらなる負担増・サービス縮小を検討しています。これ以上の制度の後退は許されません。

介護事業所は低く据え置かれた介護報酬のもとで深刻な経営難に直面しています。2024年の倒産・休廃業件数は784件と過去最多となりました。とくに、訪問介護は基本報酬の引き下げの影響で事業撤退が相次ぎ、訪問介護事業所がゼロになった自治体が増加しています。

介護現場の人手不足も深刻さを増しています。政府は2026年度に介護職員が25万人不足する需要見込みを示していますが、有効な対策はとられていません。肝心の処遇改善は遅々として進んでおらず、2024年度的全産業平均との賃金格差は8万3000円に広がっています。

神奈川で集める署名は、2万筆を目標とし、来年の通常国会までの期間で集めます。

第一次集約は、11月中旬とし、11月20日（木）に行われる衆議院第二議員会館での署名提出集会に持ち込みます。介護署名を大きく広げましょう。

STOP! 介護崩壊

介護保険

これではまるで「国家的保険詐欺」!!
保険料を払っていても、必要な時に必要な介護を受けられない

「保険あって介護なし」 —利用制限の強化

介護保険がスタートして25年、相次ぐ制度の見直しで、「利用できない・利用させない」介護保険に。
2005年 施設等の居宅費・食費の自己負担化
2015年 利用料2割負担の導入
特養ホームの入所対象を原則要介護3以上に限定
要介護者の訪問介護・通所介護を保険給付から除外
2018年 利用料3割負担の導入……等々

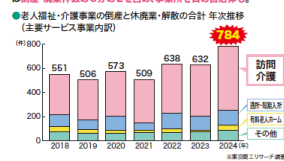
介護保険料は右肩上がり

2024~26年度は平均月6,225円
—最高額は大阪市の9,249円

高齢者の介護保険料は介護保険スタート時から倍化。物価高騰、年金切り下げが続く中、保険料の支払いはもう限界。
介護保険料は2.14倍に6,225円
2,911円 現行

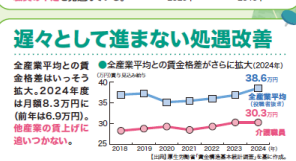
事業所の倒産・廃業件数は過去最多784件(2024年)

低いままでの介護報酬
訪問介護の危機は介護崩壊のはじまり
2024年改定は+1.59%のプラス改定。しかし物価上昇分(3%前後)を全くカバーできない水準。特に基本報酬を引き下げられた訪問介護は倒産・廃業件数の3分の2を占め、事業所ゼロの自治体も。



介護現場の人手不足はきわめて深刻

このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない
募集しても応募はゼロ。職員不足で受け入れ困難。ヘルパーの有効求人倍率は1.4倍。政府は2026年度に25万人、40年度は57万人の介護職員の不足を見込んでいる。



遅々として進まない処遇改善

全産業平均との賃金格差はさらに拡大(2024年)
全産業平均は38.6%に拡大。2024年度は月給8.5万円に(前年は6.5万円)。他産業の賃上げに遠く及ばない。

ところが 政府は、負担を引き上げ、サービスを削る新たな見直しを計画

…2026年通常国会に「改正」案を提案予定

- 利用料2割負担の対象者を拡大
- ケアプランの有料化
- 要介護1、2の生活援助等のサービスを保険給付から外す……等々

介護保険制度の抜本改善、 ケアが大切にされる社会の実現に向けて

署名にご協力
ください

「これまでに提案されている給付削減・負担増の見直し案の撤回を!」
「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回、全サービスの報酬の底上げを!」
「すべての介護従事者の賃金を早急に全産業水準に!」
「国の負担を大幅に増やし、介護保険制度の立て直し、抜本改善を!」

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名
—新たな利用困難をもたらす見直しを中止し、
介護する人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ—

- 1 介護保険の利用に困難をもたらす利用料2割負担の対象拡大、ケアプランの有料化、要介護1、2の保険給付はずし(総合事業への移行)など、介護保険の利用に重大な困難をもたらす新たな制度見直しを検討しないこと…【改悪阻止】
- 2 訪問介護の基本報酬引き下げを撤回し、介護報酬全体的大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。その際はサービスの利用に支障が生じないように、利用料負担の軽減などの対策を講じること…【介護報酬】
- 3 全額国庫負担により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと…【処遇改善】
- 4 必要なときに必要な介護が保障されるよう、介護保険料、利用料などの費用負担の軽減、サービスの拡充による介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること…【制度改善】

後期高齢者医療神奈川県広域連合議会「決算認定」など可決

8月22日、かながわ労働プラザで、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴には、年金者組合、保険医協会、横浜社保協、川崎社保協、藤沢社保協、茅ヶ崎社保協の他、横浜市港北区などから20人が参加しました。広域連合議会は、3月末とこの時期の2回開催され、今議会は、2024年度決算を認定しました。

神奈川県の広域連合議会の議員定数は20人で、1年で改選し、ほぼ全員入れ替わります。2025年度は、横浜市7人、川崎市3人、横須賀市1人、相模原市1人、残り8人はブロック分け選出（2024年度は藤沢市・茅ヶ崎市・小田原市・秦野市・大和市・海老名市・大磯町・松田町）。会派別では、横浜市が自民2、公明2、立憲1、維新1、共産1。川崎市が自民1、みらい1、公明1。横須賀市は一市民1、相模原市は自民1。ブロック選出は、議長・副議長が多く、公明4、共産・民主クラブ・誠和・無所属が各1。日本共産党の議員は、この間横浜市選出の1人だけでしたが、2025年度は、白井まさ子議員（横浜市港北区）と鈴木京子議員（大磯町）の2人になりました。



白井議員（中央左）
と傍聴参加者

「医療費の窓口負担を1割に戻すことを求める意見書提出の陳情」不採択!!

広域連合議会に、「年金者組合神奈川県本部」より、「2割負担に引き上げられた後期高齢者医療費の窓口負担を、1割負担に戻すことを求める意見書提出の陳情」を提出しました。3年前から医療費窓口負担2割化が始まりましたが、「配慮措置」が9月30日で終わります。「配慮措置」の効果がほとんどなく、民医連が実施した窓口アンケートでも負担感が重くのしかかってきていることから、1割に戻すことを求めて陳情としました。

一般質問で、白井議員が、「県内の医療機関の経営は危機的な状況だ。医療崩壊を止めるためには緊急に5000億円の国費を投入し、診療報酬の基本部分を引き上げること、医療従事者の賃上げを図ることが必要。OTC類似薬の保険は少しや高額療養費の自己負担増をやめることを国に求めるべきと主張しました。佐藤光連会長（茅ヶ崎市長）の答弁は「全国知事会などが国に緊急要望している」と述べるにとどまりました。福島直子議員（横浜市・公明党）が「データヘルス計画の状況」について質問しました。

鈴木京子議員は、一般会計の反対討論で、「個人情報漏洩の危険性が拡大されている」と表明。議会運営については、「33の市町村から審議に加わるよう議員定数を増やすこと。14町村で2人というのはすぐにでも是正すべきだ」。広域連合議会の開催時期は「市町村議会終了後となっているが、広域連合議会で審議されたものが市町村議会で論議されない。市町村議会の前に行うべきだ」。特別会計の決算認定については、「引き上げられた保険料と2割化となった窓口負担増のもとで執行された」として反対しました。一般会計では、東みちよ議員（横浜市議・自民党）が「マイナ保険の推進」について質問しました。

陳情は、議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議会運営委員会では、広域連合事務局長が「昨年6月に厚労省が発表した2割負担化の影響調査では受診控えは少ないとの報告だった」と陳情は不採択にすべきと発言。久保田和弘議員（横浜市・公明党）が、「現役世代の負担を減らすためには、後期高齢者の負担増はやむを得ない」と発言しました。議会運営委員会は、本会議に「陳情不採択」と採択しました。

本会議で、鈴木京子議員は、「2022年10月から窓口負担が2割にされた方は28%近くに及ぶ。医療生協かながわが取り組んだアンケート308人分のうち、『窓口の負担感がとても重い』と答えた方が14.2%、『重い』と答えた方は54.7%で、合わせると約7割にのぼる。『受診をためらうようになった』は8.2%、『受診回数・薬を減らした』は5.2%のぼる。深刻な受診抑制が起きていると受け止められる。『窓口負担が2割になっても生計の収支に余裕がある』というのは国の誤った認識によるもので、物価高騰などは勘案されず、医療や介護を利用する機会が増える高齢者にとって、命が脅かされる状況だ。『よって、窓口負担を1割に戻すことを求める意見書提出に賛成、不採択に反対する』と力強く発言しました。

ほかの議員からの発言はなく、議運の不採択の決定について賛成起立を求めたところ、白井正子議員、鈴木京子議員以外の18人の起立によって、残念ながら「不採択」となりました。

8.15 終戦記念日、「戦争・被爆 80 年」トークのつどい

8 月 15 日の終戦記念日の夕方。戦争・被爆 80 年の今年、「平和を求めるトークのつどい」を、桜木町駅前広場で開催しました。戦争・被爆の体験談を聞く機会が少なくなる中、あえて屋外で当事者に話をしてもらい、継承することを目的にし、はじめて企画しました。主催は、平和を求めるユナイト街宣実行委員会。

横浜大空襲の被災者、長崎での被爆者、疎開経験者がマイクを握り、「戦争の惨禍を二度と繰り返してはならない」と口をそろえて語りました。

横浜大空襲の被災者の柳下さんは、終戦時 5 歳。「自宅にいて、近くの公園に掘られた防空壕に逃げたが、すでにいっぱい、焼夷弾が降り注ぐ中を家族と逃げ惑った。後になって、壕に避難した人は蒸し焼きになって亡くなったと知った」。「まちが燃えている光景は今でも忘れられない」と声を震わせ、「もうあんな思いは誰にもさせてはならない。絶対にさせてはいけない」と繰り返しました。長崎で 2 歳のとき被爆した東さんは、

「祖母の腕にガラスの破片が刺さり、姉は腕にやけどを負った」と回想。「被爆の証言できる人は県内に 10 人といない。記憶の継承が難しい問題になっている」と吐露しました。大木さんは小学校 4 年生のとき高知県に疎開したが、駐屯していた日本軍の部隊によって校舎を追い出されたという。「軍事教育を徹底して国民を戦争に駆り立てた。どんなことがあっても、逆戻りさせてはいけない」と語気を強めました。大木さんはここ数年体験談を語ることはなかったが、参政党の急進を見て話さなければと思って参加したとのこと。

広島・長崎の被爆実相、ウクライナ・ガザ惨禍のパネルを展示し、常時 100 人近くが途切れることなく足を止めていました。退社時間帯のため、多くの人々が立寄り、話を聞きパネルを見ていました。観光で訪れたロシア人の女性が声をかけてきて、趣旨を話すと「80 年間、戦争をしなかったお祝いですね」。若いカップルが体験談に聞き入り、最後まで立寄っていました。小学生低学年を連れた親子が署名台に立ち寄り、子どもが「非核署名」にサインしました。若い男性数人のグループがパネルを見ながら声をかけてきて署名をしていきました。参加者からは、「音楽を流しながら、いい雰囲気、それぞれの体験談も良かった」、「九条の会や様々な平和団体が一堂に会してよかった」。＜神奈川労連住谷議長より情報提供＞



「こういう取り組み大切」と子供の分まで署名

消費税廃止各界連

消費税廃止神奈川県各界連絡会は 8 月 25 日、定例の宣伝を伊勢崎町で行いました。厳しい暑さの中、6 団体から 19 人が参加し、道行く人たちに消費税減税・インボイス廃止を訴えました。

神奈川土建の宣伝参加者の呼びかけに、「今の日本は本当におかしい」と、40 代の女性が快く署名に応じてくれました。「こうした取り組みは大切ですね。やっていかないと」と 2 人の子供の分まで署名してくれました。

60 代の女性に、「インボイス廃止を求める署名を集めている」と話しかけると、「どういう制度ですか」と対話になり、税金があまりに重すぎるなど、対話が広がりました。フリーランスになるか考えているという 30 代の女性は、「フリーランスの方たちが運動しているのを知っています。インボイスは大変」と署名してくれました。

この日は 30 分の短い宣伝でしたが、医療機関を守る署名 17 人分と消費税減税 15 人分、軽減措置延長求める署名 6 人分が集まりました。＜消費税廃止各界連運動推進ニュースより＞



中央社会保障学校 from 佐賀 9.20

9月20日(土) 13:00~16:30で、中央社会保障学校 from 佐賀が開催されます。神奈川からは、オンライン中心の参加となります。

1990年以降続く、新自由主義「構造改革」により、大企業と富裕層の利益が最大化する一方、社会保障や労働政策は大きく後退し、将来展望が持てない格差社会になっています。

一方で、異次元な軍勢力強化は際限なき軍拡競争という危険な流れを加速させています。

今回の中央社保学校は軍拡基地強化がすすむ九州を拠点に「人権としての社会保障」を深く学ぶ機会とします。

県社保協は、オンラインの集団視聴できるよう神商連3Fにサテライト会場を設置しました。

県社保協のホームページに案内・申込書があります。<https://kanagawa-shahokyou.jp>

多くの方の参加をお待ちしています。

(参加費は2000円ですが、県社保協で1000円支援します)

第52回

中央社会保障学校

from 佐賀

1990年以降続く、新自由主義「構造改革」により、大企業と富裕層の利益が最大化する一方、社会保障や労働政策は大きく後退し、将来展望が持てない格差社会になっています。また、国内の異次元な軍勢力強化は際限なき軍拡競争という危険な流れを加速させています。今回の中央社保学校は軍拡基地強化がすすむ九州を拠点に「人権としての社会保障」を深く学ぶ機会とします。

2025年 9/20(土)
13:00[12:30受付開始]~16:30
終了後、社会保障拡充パレード

会場 アバンセ (佐賀県立男女共同参画センター)
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11

参加費 1人2,000円(資料代・送料込み)
※資料には社会保障テキストなどが含まれています

【オプション】フィールドワーク(2日目、希望者のみ)

- テーマ：オスプレイ配備反対・有明海地域再生をめざす運動から学ぶ
- 日時：9月21日(日)8時30分~14時30分解散(予定)
- 内容：佐賀空港・オスプレイ基地並びに有明海干潟見学・オスプレイ配備・基地建設反対住民の会・有明海地域再生実行委員会との懇談
- 参加費：1人4,000円(バス代・昼食代込み)

お申し込み ①中央社会保障学校 ②社会保障パレード ③フィールドワーク

※お申し込みは9/5(金)まで
※入金期日：9/17(水)
(お申し込み時に振込されたメールアドレスに実行費メールが自動送信されます)
※宿泊おっせん/9/20(土)の宿泊希望の方は「名義観光」へ申込みください ※詳しくは説明会で案内

※中央社会保障学校参加費と別記し、参加費を必ずご記入下さい。※お申し込み手数料は各自で負担ください。
ゆうちょ銀行 当座 店名〇〇九 口座番号 0155551
加入者名：中央社会保障推進協議会

スケジュール

13:00 開校

13:15 学習講演
社会保障入門
～分断を乗り越え手をつなごう～
講師 井口 克郎氏
神戸大学准教授

14:30 シンポジウム
**九州から発信する
社会保障運動と展望**
司会者 村田 隆史氏
京都府立大学准教授
ほか パネリスト

16:30 閉校

17:00 社会保障拡充パレード
(17時アバンセ出発→18時JR佐賀駅前着)

《9月の主な行動・会議日程》

- 9月1日(月) 9.1 新介護署名総決起WEB集会 18:00 (ZOOM)
- 9月3日(水) 県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会議室+ (ZOOM)
中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 日本医療労働会館+ (ZOOM)
建設労連9・3賃金引上げ生活危機突破決起集会 13:30 関内ホール
- 9月4日(木) 県民要求連絡会事務局会議 13:00 県職労連会議室+ (ZOOM)
- 9月5日(金) 県社保協第3回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+ (ZOOM)
- 9月7日(日) 福祉保育労組神奈川県本部定期大会 9:40 県民戦—た 305 会議室
- 9月9日(火) 民医連・介護提言パンフ学習会 11:00 民医連会議室
- 9月11日(木) 神奈川革新懇・夏の活動交流会 13:15 川崎市総合自治会館ホール
- 9月12日(金) 介護のつどい実行委員会 10:30 民医連会議室+ (ZOOM)
県社保協第3回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 9月14日(日) 神奈川労連定期大会 10:00 かながわ労働プラザ3F 会議室
- 9月16日(火) 消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室
国民大運動実行委委員会学習会「ナチスと排外主義」 18:30 神商連会館4F 会議室
- 9月17日(水) 高齢期のつどい実行委員会 18:30 医療生協かながわ藤沢診療所会議室
- 9月18日(木) なくすな保険証連絡会宣伝・署名行動 16:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9月19日(金) 税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動西湘キャラバン①
- 9月20日(土) 中央社会保障学校 from 佐賀 12:30 (ZOOM) ※集団視聴会場→神商連会議室
- 9月22日(月) 消費税廃止各界連学習会 19:00 神商連会館4F 会議室
- 9月23日(火) 「地球沸騰化」県行政・県民にできることは?学習会 13:30 労働プラザ4F 会議室
- 9月24日(水) 大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室
年金者組合神奈川県本部定期大会 10:00 横浜市技能文化会館2F ホール
- 9月25日(木) 明るい会県内基地調査 9:00 桜木町駅南口改札口集合
いのちをまもる9.26総行動 13:00 日比谷野外音楽堂
- 9月26日(金) 民医連：福島原発視察と被災地を巡るバスの旅 7:15 横浜駅出発 (～9月27日18:30)
中央社保協関東甲ブロック会議 13:30 茨城保健生協城南病院会議室
- 9月28日(日) 神奈川県医労連定期大会 10:30 ウイリング横浜901 会議室
日本母親大会 in 東京 13:00 日本教育会館・全国教育文化会館他 (9月29日～15:30)
- 9月29日(月) 税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動西湘キャラバン②
消費税ネット世話人会&事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)